

2020年3月期 第1四半期 連結決算概況と通期見通し

2019年8月2日
オリンパス株式会社
執行役 CFO
境 康

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

第1四半期連結実績

- 通期見通しに沿って推移し、増収増益
- 販管費の効率化が順調に進捗し、販管费率55.6%(前年同期比2.6pt改善)

通期業績見通し

- 期初計画から見通しに変更無し

2020年3月期 第1四半期 連結業績および事業概況

2020年3月期 第1四半期実績 ①連結業績概況

- ① 内視鏡事業・治療機器事業・科学事業が堅調に推移し、増収
- ② 前年同期の一時費用の減少および販管費の効率化により、全利益項目において大幅な改善

1Q実績（4-6月）

(単位：億円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	為替影響調整後
売上高	1,806	1,819	+1%	+3%
売上総利益 (売上総利益率)	1,183 (65.5%)	1,167 (64.2%)	▲1%	0%
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	1,050 (58.2%)	1,011 (55.6%)	▲4%	▲2%
その他の収益および費用等	▲250	▲9	-	-
営業利益 (営業利益率)	▲116 (-)	147 (8.1%)	-	-
税引前利益 (税引前利益率)	▲147 (-)	136 (7.5%)	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	▲167 (-)	86 (4.7%)	-	-
EPS	▲12円	6円		
円/USドル	109円	110円		
円/Euro	130円	123円		
円/CNY	17円	16円		

2020年3月期 第1四半期実績 ②販管費効率化の進捗

	2018年3月期 (1Q実績)	2019年3月期 (1Q実績)	<u>2020年3月期</u> <u>(1Q実績)</u>	前年同期比
販管費	995億円	1,050億円	1,011億円	▲4%
販管费率	57.9%	58.2%	55.6%	▲2.6pt

Transform Olympusのコスト効率化施策に沿って順調に進捗

2020年3月期 第1四半期実績 ③セグメント別概況

- 今期より、医療事業を2事業部門体制（内視鏡事業・治療機器事業）に再編し、運営

内視鏡事業

Endoscopic Solutions Division



消化器科キャピタル製品



呼吸器科キャピタル製品



IT



リプロセス



システムインテグレーション



修理サービス



外科内視鏡キャピタル製品



手術用顕微鏡システム

治療機器事業

Therapeutic Solutions Division



消化器科呼吸器科関連処置具



エネルギー・デバイス、
その他外科用シングルユース製品



泌尿器科、婦人科製品



耳鼻咽喉科製品

2020年3月期 第1四半期実績 ③セグメント別概況

- ① 内視鏡： 保守サービスを含む消化器内視鏡および外科内視鏡の売上が堅調に推移し、全社業績を牽引
- ② 科学： 生物顕微鏡、産業製品ともに高い売上成長を実現し、1Q実績として過去最高の営業利益
- ③ 映像： ミラーレス一眼の販売減により減収も、今期は構造改革費用の計上は無いため損益は改善

1Q実績 (4-6月)

(単位：億円)

		2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	為替影響 調整後
内視鏡	売上高	929	954	+3%	+5%
	営業利益	215	219	+2%	+4%
治療機器	売上高	510	521	+2%	+5%
	営業利益	59	57	▲3%	▲1%
科学	売上高	211	226	+7%	+9%
	営業利益	▲4	16	+20億円	+19億円
映像	売上高	139	102	▲27%	▲25%
	営業損益	▲58	▲23	+34億円	+37億円
その他	売上高	17	16	▲2%	▲2%
	営業損益	▲7	▲6	0億円	0億円
全社・消去	営業損益	▲322	▲115	+207億円	+207億円
連結合計	売上高	1,806	1,819	+1%	+3%
	営業利益	▲116	147	+264億円	+271億円

OLYMPUS

2020年3月期 第1四半期実績 ④内視鏡事業

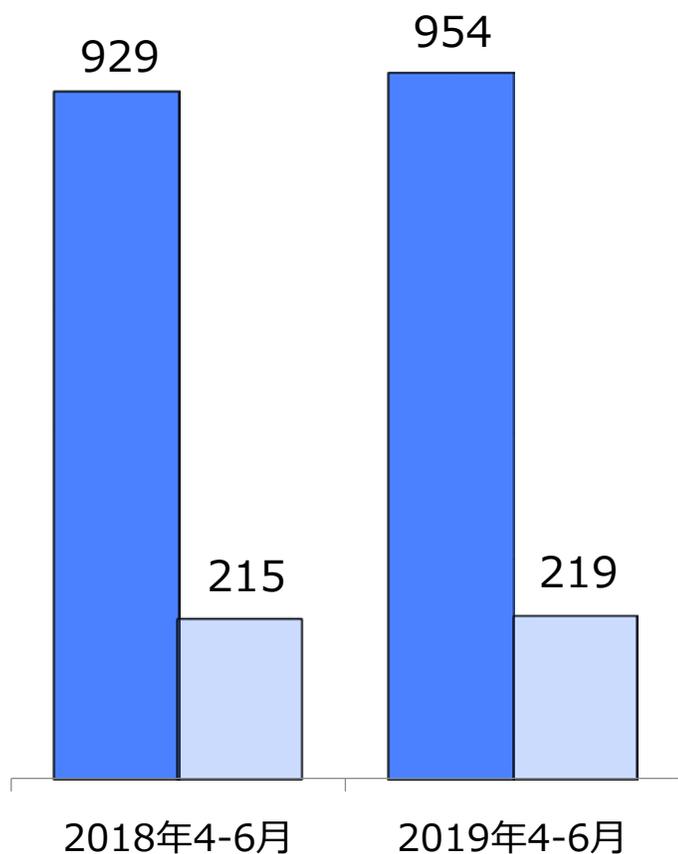
第1四半期実績（4-6月）

■ 売上高 □ 営業利益
(億円)

(単位：億円)

	FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後
売上高	929	954	+3%	+5%
営業利益	215	219	+2%	+4%
その他の損益*	10	2	-	-
営業利益率	23.2%	23.0%		22.9%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値



売上高

営業利益

- ✓ 中国を中心とした新興国の消化器内視鏡の売上が大変好調に推移したことに加え、北米の保守サービスの売上増により、前年同期比3%の増収
- ✓ 増収および販管費の適切なコントロールにより、増益

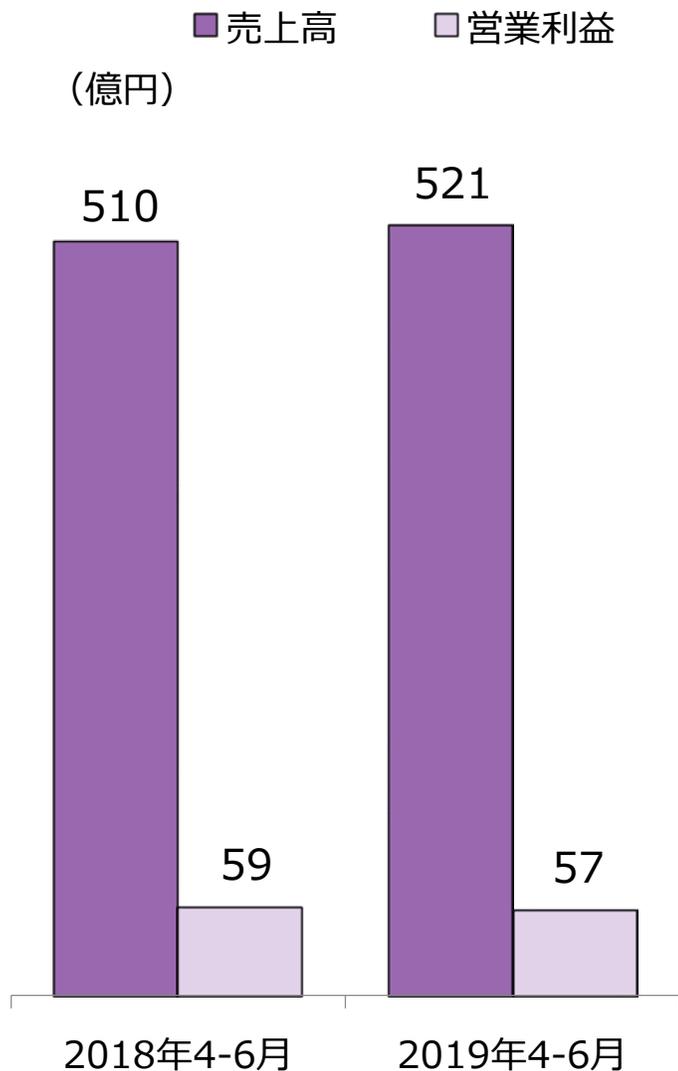
2020年3月期 第1四半期実績 ④治療機器事業

第1四半期実績（4-6月）

(単位：億円)

	FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後
売上高	510	521	+2%	+5%
営業利益	59	57	▲3%	▲1%
その他の損益*	0	0	-	-
営業利益率	11.5%	10.9%		10.9%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

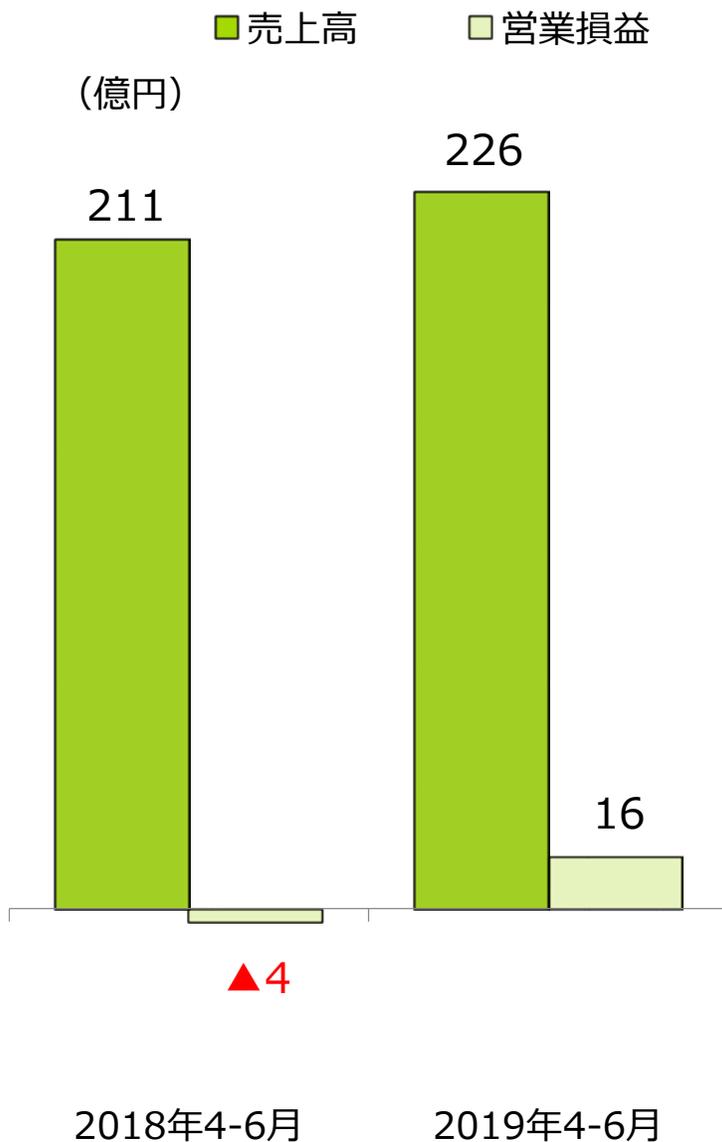


売上高

営業利益

- ✓ 全領域（処置具、エネルギーデバイス、泌尿器科婦人科、耳鼻咽喉科）で売上を拡大
- ✓ 販促費の効率化を進めた一方、Transform Medicalの機能強化に伴う先行投資もあり、前年並みの水準

2020年3月期 第1四半期実績 ④科学事業



第1四半期実績 (4-6月)

(単位：億円)

	FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後
売上高	211	226	+7%	+9%
営業利益	▲4	16	+20億円	+19億円
その他の損益*	▲1	▲2	-	-
営業利益率	-	7.3%		6.8%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

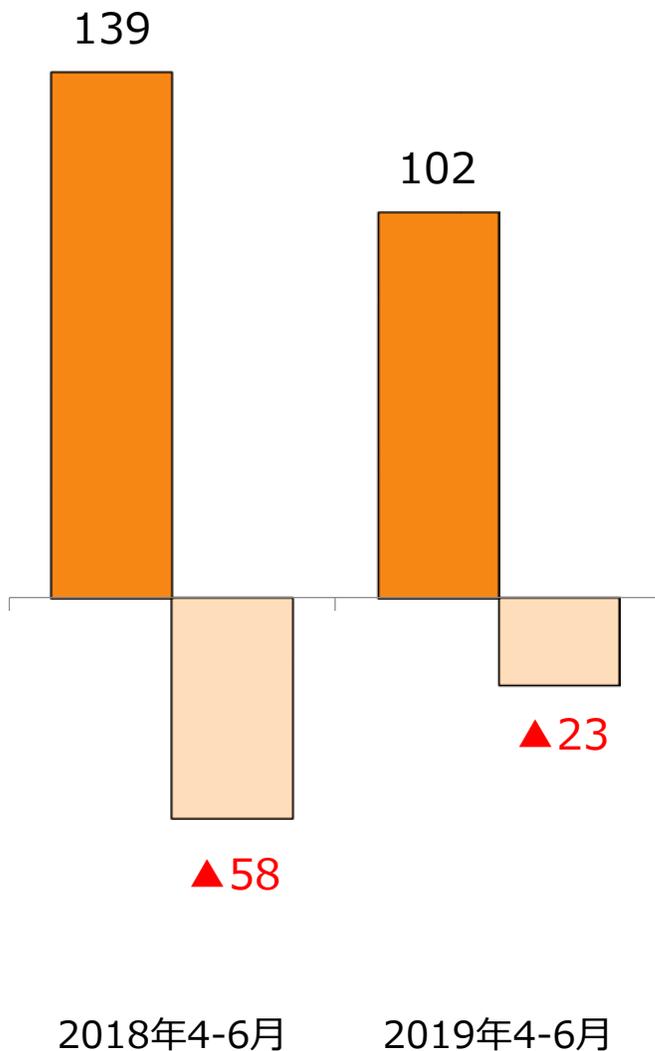
売上高

営業利益

- ✓ 生物顕微鏡は北米や中国で好調に推移し、産業製品は工業用内視鏡の新製品効果、非破壊検査機器の大口出荷等により、全体で7%の増収
- ✓ 増収および販管費の効率的なコントロールにより、1Q実績として過去最高の営業利益を計上

2020年3月期 第1四半期実績 ④映像事業

(億円) ■売上高 □営業損益



第1四半期実績 (4-6月)

(単位：億円)

	FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後
売上高	139	102	▲27%	▲25%
ミラーレス	103	77	▲25%	▲23%
コンパクト	20	12	▲40%	▲38%
その他	15	13	▲17%	▲16%
営業損益	▲58	▲23	-	-
その他の損益*	▲49	▲5	-	-
営業利益率	-	-		-

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

売上高

- ✓ ミラーレス一眼の厳しい事業環境等に加え、生産拠点再編の影響により新製品の導入が出来ておらず、減収

営業損益

- ✓ 前年同期に計上した生産拠点の再編に伴う費用が今期は発生していないことや販管費の抑制等により、損益が改善

財政状態計算書

- 国際会計基準の新リース基準を適用した影響により、有形固定資産が増加
- 剰余金の配当および円高の影響等により資本が減少し、自己資本比率は45.8%
- 期末に向けて資産の効率化を図り、財務体質を強化

(単位：億円)	2019年 3月末	2019年 6月末	増減額
流動資産	4,560	4,419	▲141
棚卸資産	1,536	1,624	+88
非流動資産	4,760	4,964	+204
有形固定資産	1,769	2,059	+290
無形資産・その他	1,979	1,925	▲54
のれん	1,012	980	▲32
資産 合計	9,320	9,383	+63

	2019年 3月末	2019年 6月末	増減額
流動負債	2,875	2,857	▲18
社債及び借入金	597	608	+11
非流動負債	2,021	2,214	+193
社債及び借入金	1,216	1,207	▲9
資本	4,424	4,312	▲112
自己資本比率	47.3%	45.8%	▲1.5pt
負債及び資本 合計	9,320	9,383	+63

有利子負債：1,815億円（2019年3月末比+2億円）

連結キャッシュフロー計算書

- デモ・ローナー品等の有形固定資産取得による支出があったものの、医療分野を中心に利益を創出し、フリーキャッシュフローは129億円のプラス

(単位：億円)	第1四半期実績		増減
	2019年3月期	2020年3月期	
売上高	1,806	1,819	+13
営業損益	▲116	147	+264
営業利益率	-	8.1%	-
営業キャッシュフロー	250	284	+34
投資キャッシュフロー	▲174	▲155	+19
フリーキャッシュフロー	77	129	+52
財務キャッシュフロー	▲91	▲113	▲22
現金及び現金同等物期末残高	1,899	1,137	▲762
減価償却費	143	174	+31
資本的支出	162	146	▲16

2020年3月期 通期業績見通し

通期見通し ①連結業績

■ 通期見通しは前回公表から変更なし

(単位：億円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 (最新見通し)	前年比	為替影響 調整後
売上高	7,939	8,000	+1%	+5%
売上総利益 (売上総利益率)	5,096 (64.2%)	5,080 (63.5%)	0%	+5% (64.2%)
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,375 (55.1%)	4,140 (51.8%)	▲5%	▲3% (51.3%)
その他の収益および費用等	▲438	▲40	-	-
営業利益 (営業利益率)	283 (3.6%)	900 (11.3%)	+218%	+269% (12.5%)
税引前利益 (税引前利益率)	201 (2.5%)	860 (10.8%)		
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	81 (1.0%)	630 (7.9%)		
EPS	6円	46円		
円/USドル	111円	106円		
円/Euro	128円	121円		
円/CNY	17円	16円		

2020年3月期配当

年間配当10円を予定
(変更なし)

通期見通し ②セグメント別業績

■ 全事業で見通しに沿って進捗しているため、前回公表値を据え置き

(単位：億円)		2019年3月期 通期実績	2020年3月期 最新見通し	前年比	為替影響調整後
内視鏡	売上高	4,188	4,200	0%	+4%
	営業利益	898	1,050	+17%	+27%
治療機器	売上高	2,155	2,170	+1%	+5%
	営業利益	222	300	+35%	+50%
科学	売上高	1,042	1,060	+2%	+6%
	営業利益	81	90	+11%	+34%
映像	売上高	487	500	+3%	+7%
	営業利益	▲183	▲70	+113億円	+116億円
その他	売上高	67	70	+5%	+5%
	営業利益	▲35	▲40	▲5億円	▲5億円
全社・消去	営業利益	▲700	▲430	+270億円	+264億円
合計	売上高	7,939	8,000	+1%	+5%
	営業利益	283	900	+218%	+269%

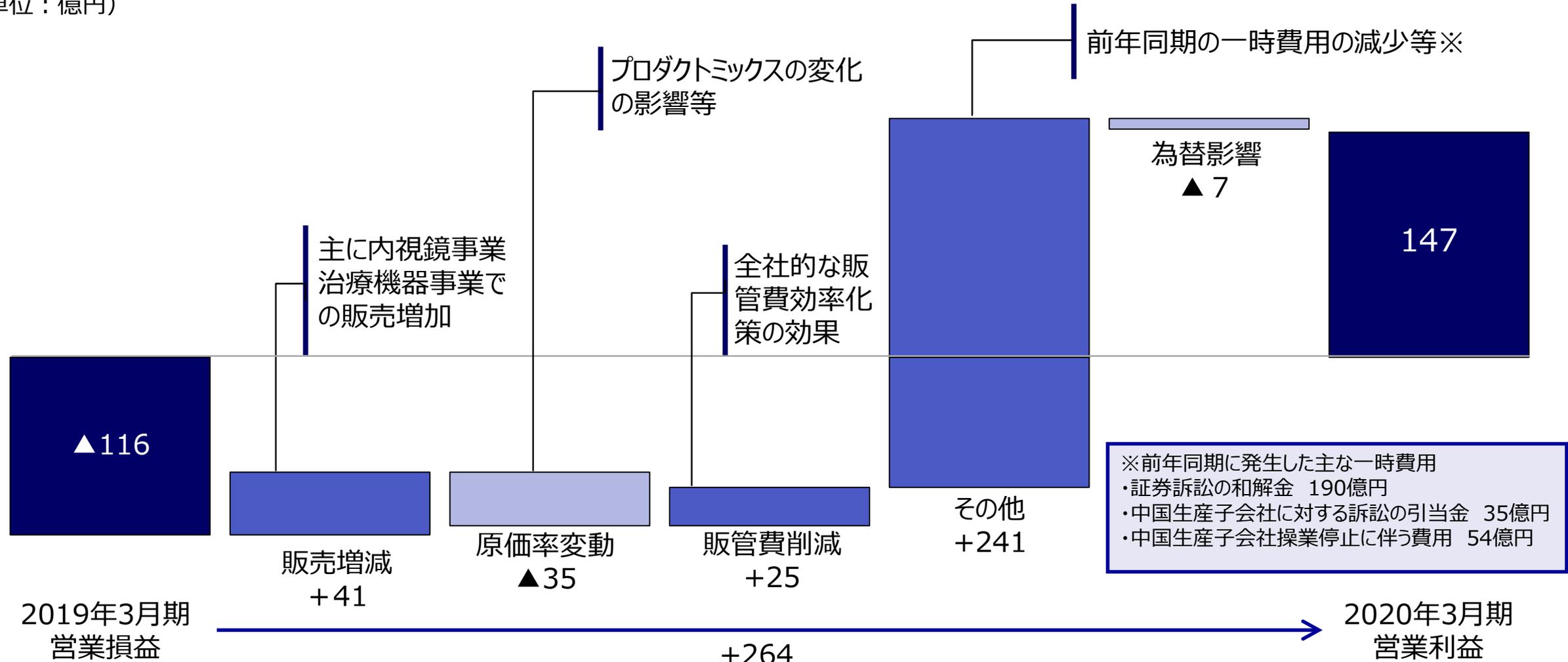
OLYMPUS

Appendix

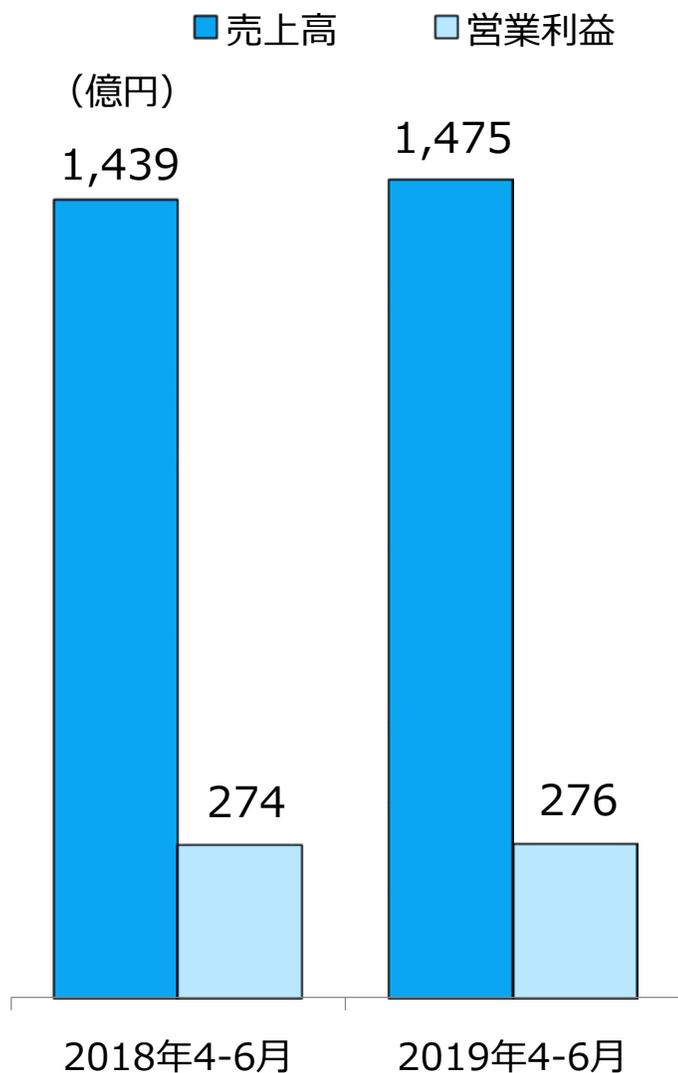
【参考資料】2020年3月期 第1四半期実績 ①連結営業損益増減要因

第1四半期実績（4-6月）

(単位：億円)



【参考資料】2020年3月期 第1四半期実績 医療事業



(単位：億円)	第1四半期実績 (4-6月)			
	FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後
売上高	1,439	1,475	+2%	+5%
内視鏡	763	780	+2%	+5%
外科	474	484	+2%	+4%
処置具	202	210	+4%	+7%
営業利益	274	276	+1%	+3%
その他の損益	10	1	-	-
営業利益率	19.0%	18.7%		18.7%

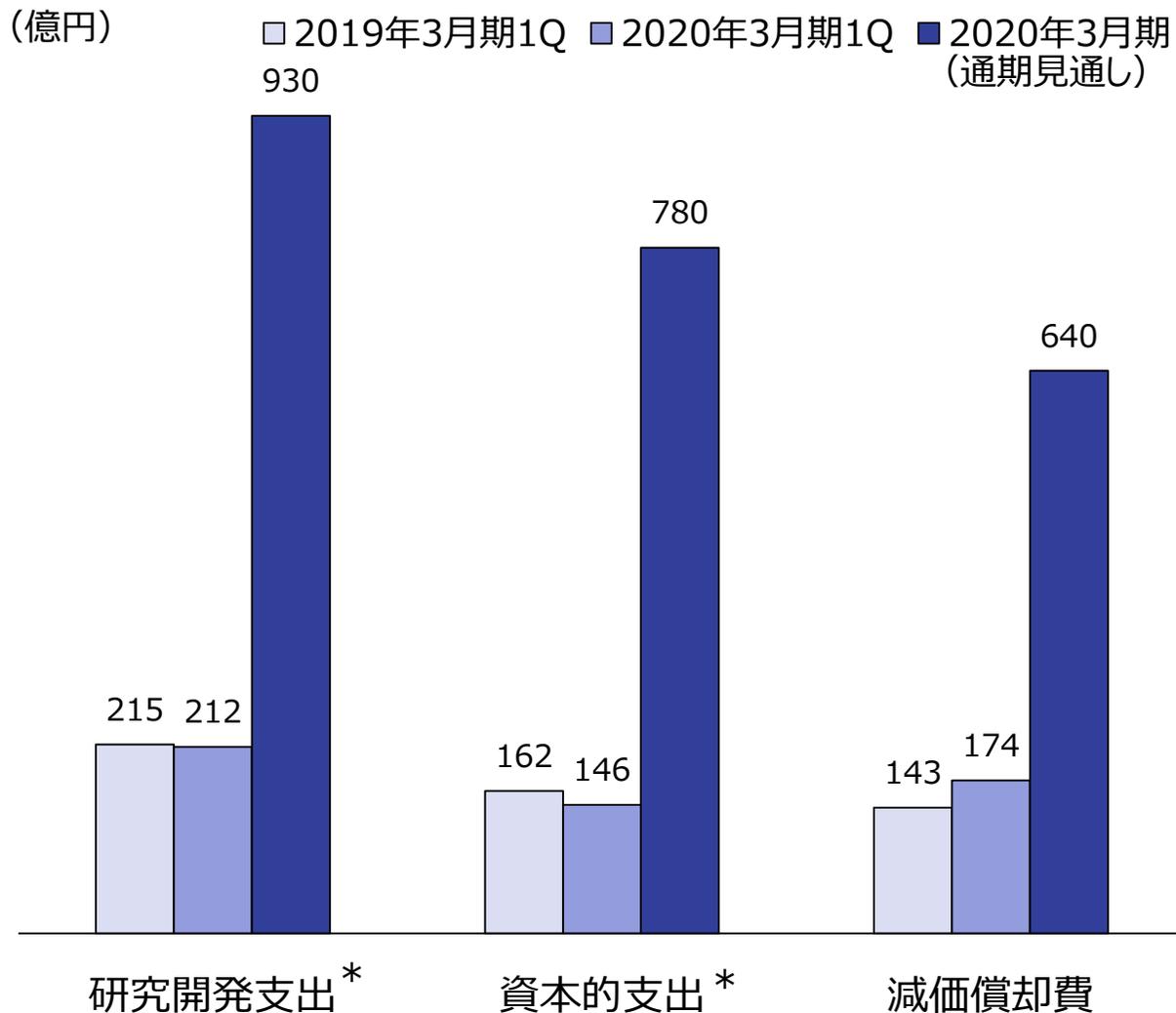
売上高

営業利益

- ✓ 中国を中心とした新興国市場が好調に推移し、売上増を牽引
- ✓ 内視鏡分野の増収および販管費の効率化により、増益

【参考資料】投資等

1Q実績および通期見通し



(単位：億円)

	FY2019		FY2020	
	1Q	1Q	1Q	通期見通し
研究開発支出* (a)	215	212	930	
開発費資産化 (b)	24	33	230	
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	191	179	700	

(単位：億円)

	FY2019		FY2020	
	1Q	1Q	1Q	1Q
償却費	17	17		
	2019年3月末	2019年6月末		
開発資産残高	333	348		

(*) 研究開発支出および資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています